



第6回岐阜県ジュニアバスケットボールクラブ選手権大会 結果

|     | <男子の部>          | <女子の部>         |
|-----|-----------------|----------------|
| 優勝  | 高山市バスケットボールクラブA | MJバスケットボールクラブ  |
| 準優勝 | MJバスケットボールクラブ   | ハシマグレートセイヴィアーズ |
| 第3位 | レッドデーモンズ        | 東濃EAST         |
| 第4位 | 下呂Jrクラクルズ       | 本巣ジュニア         |

優秀選手（男子）

| チーム             | 氏名   |
|-----------------|------|
| 高山市バスケットボールクラブA | 河野真秀 |
| 高山市バスケットボールクラブA | 本田航琉 |
| MJバスケットボールクラブ   | 伊藤圭吾 |
| レッドデーモンズ        | 安藤聖  |
| 下呂Jrクラクルズ       | 黒木優希 |

優秀選手（女子）

| チーム            | 氏名    |
|----------------|-------|
| MJバスケットボールクラブ  | 磯竹すず夏 |
| MJバスケットボールクラブ  | 三宅里佳  |
| ハシマグレートセイヴィアーズ | 小島れん  |
| 東濃EAST         | 武井美悠  |
| 本巣ジュニア         | 日比野有羽 |



選手代表インタビュー

新人大会高山市チームの活躍！

1月に行われた岐阜県高等学校バスケットボール新人大会では、斐太高校男子がベスト16、高山西高校男子が5位、高山西高校女子が3位と高山市のチームが活躍しました。今回は各チームの代表の生徒に新人戦を終えてとインターハイにむけての意気込みを書いてもらいました。

高山西高等学校 藤井 俊貴



新人戦を終え、チームとしての課題が浮き彫りになりました。みんなで自分の思いを話し合い、試合に出ることの責任を再確認し、チーム全員で勝つという思いを一つにしました。練習の質をよくするために全員で声を出すこと、切り替えを早くすることなどチームとしてこだわっていくことをまとめました。今はインターハイに行くことを目標にして練習に取り組んでいます。

新入生も入学し、留学生のドラフネも加わりました。プレイスタイルも大きく変わり、最初は戸惑いもありましたが、自分の役割を考えてプレイすることができました。大きな戦力が加わり、チームの思いもより堅いものになりました。インターハイ予選まで1ヶ月をきり、良いムードを作りながら練習に取り組み、気持ちを一つにして大会へ向かっていきたいです。

高山西高等学校 川原玲奈



私たちは、全国大会出場という目標のもと日々の練習を頑張っています。現在は岐阜女子高校が県内でも強豪であり、全国でも優勝に近いチームです。ここ2年間は岐阜女子高校の結果がウィンターカップに反映されるため、結果次第では岐阜県よりも1チームがウィンターカップに出場できます。その為、目標を達成するためにインターハイ予選では優勝に絡み東海に出場、その後のウィンターカップも視野に入れチームに勢いを付けられるようにチーム全員で声を出し合って、笑顔で頑張ります。

斐太高等学校男子 奥田 庸



1月の新人戦では、2回戦で強敵美濃加茂高校に敗れてベスト16という満足のいかない結果に終わりました。試合は、序盤から相手のペースで進められてしまい県のトップレベルのチームと自分たちの差を感じました。

インターハイ予選ではベスト4を目標に3つのことを意識して練習に取り組みたいと思います。1つ目は、チーム内で声をかけあうこと。2つ目は、ディフェンスから攻撃のリズムを作ること。3つ目は、自分たちのペースで試合を進めること。

以上3つのことを意識し、他校に比べると少ない練習量の中ではありますが、自分たちで立てた目標に少しでも近づけるように活動していきます。